



北原ゆうじ 活動報告

発行 No.33

発行月：2024年4月

発行者：北原後援会事務局

【連絡先】

〒312-0063

ひたちなか市田彦 998-5

TEL：029-273-1815

FAX：029-275-1680

2024年度も多くの声を市政に反映します



3回目となる代表質問登壇の様子

常日頃からの皆様方のご指導・ご支援に感謝申し上げます。3月の定例会において、日新クラブ会派を代表して質問（3回目の登壇）を行ないました。代表質問は、議会初日に市長が説明した施政方針に対する質疑で、行政全般に亘る考え方を問うものです。今回、その中から32項目44点の質問を行なってまいりました。本市は現在、人口問題をまちづくりの総合的課題として捉え『人口15万人を維持』することを目標に、第3次総合計画後期基本計画を推進しています。人口減少が進むと労働力の低下や社会保障負担の増加など、経済と社会に大きな影響を与えます。それらを解決するためには、人口減少抑制や地方創生の取組みを一層強化する必要があります。今後も、こうした課題解決に向けて活動するとともに、皆様方の声を一つでも多く市政に反映し、より働きやすく住みよいまちの実現をめざすため、全力で取り組んでまいります。引き続きのご指導とご支援をよろしくお願いいたします。

北原祐二

Pick Up ピックアップ ①

第8回 後援会総会・市政報告会開催

1月22日（月）、17時30分から日立Astemo佐和事業所ホールに於いて、『北原ゆうじ後援会総会・市政報告会』を開催いたしました。当日は会場参加者180名の他YouTubeでLive配信を行ない、たくさんの皆様にご参加をいただきました。総会後は市政報告会として時間をいただき、3期目活動にむけた決意や議会活動での私の役割について、また、現在は文教福祉委員会に所属をしていることから、所管として調査等を進めている項目（新中央図書館・保育士の拡充）に絞って、私の考えを交えながら報告をいたしました。ご支援ご指導をいただきました皆様方に心より感謝申し上げます。



後援会総会・報告会の様子



Pick Up ピックアップ ②

高齢者の買い物支援事業について

現在、本市では社会福祉法人等による近隣スーパーへの送迎（希望者）や、移動スーパーとくし丸ならびに、移動スーパーカスミによる移動販売が実施されています。私の所属する文教福祉委員会所管事務調査では高齢福祉課の担当者の方から移動スーパーの概要の説明を受け、その後は利用状況など、現地調査を行ないました。

【買い物支援事業の概要】

事業名称	買い物支援バス	移動スーパー（とくし丸）	移動スーパー（カスミ）
事業概要	社会福祉法人等の送迎車両を利用 希望者を近隣スーパーに送迎	冷蔵庫付き車両で高齢者宅を訪問 玄関前にて移動販売を行なう （登録制）	冷蔵、冷凍庫を含む車両で市内を巡回 公共施設や集会所等で移動販売を行なう
事業所	・社会福祉法人新世会（いくり苑） ・社会福祉法人北養会（北勝園） ・社会福祉法人克仁会（恵苑）	・株式会社セイブ食彩館 ・株式会社セイミヤ（セイミヤ馬渡店）	・株式会社カスミ （フードスクエアカスミ馬渡店）
運行頻度	隔週1回～週2回	週2回	月曜から金曜（市内47か所）
その他	市の買い物支援事業補助金を活用	高齢者見守り活動	高齢者見守り活動



市毛ハーモニーセンターにて



買い物に困難を感じている高齢者等からは、『現物の商品を見て買える喜び』など、こうした事業は、とても嬉しいとの声をお聞きます。移動販売を通しての外出支援や地域交流の促進、そして、見守り活動などがさらに推進されるよう、地域の方々の声をお聞きしながら提言活動等に尽力いたします。

Pick Up ピックアップ ③

2024年

第1回ひたちなか・東海広域事務組合2月定例会

2月19日(月)第1回2月定例会が開催されました。定例会では15件の選挙・報告及び議案に対する審議を行ない、いずれも提案の通り可決しました。

【ひたちなか・東海広域事務組合 審議案件】

選挙・報告事項（2件）

- ・副議長選挙について (1件)
- ・専決処分の報告について (1件)



ひたちなか・東海広域事務組合2月定例会 議長進行の様子

議案事項（13件）

- ・2024年度 一般会計予算について (1件)
- ・2024年度 一般廃棄物処理事業・消防事業・特別会計予算について (2件)
- ・2024年度 常陸那珂公共下水道事業会計予算について (1件)
- ・2023年度 一般会計補正予算について (1件)
- ・2023年度 一般廃棄物処理事業・消防事業・特別会計補正予算について (2件)
- ・2023年度 常陸那珂公共下水道事業会計補正予算について (1件)
- ・地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定について (1件)
- ・使用料等収入の監督手数料及び延滞金徴収等に関する条例の一部を改正する条例制定について (1件)
- ・職員定数条例の一部を改正する条例制定について (1件)
- ・消防手数料条例の一部を改正する条例制定について (1件)
- ・監査委員の選任について (1件)

Pick Up ピックアップ ④

2024年度予算成立

予算規模

【一般会計】

607億1,300万円
(対前年度比3.1%増)

【特別会計】

480億9,556万6千円
(対前年度比4.2%増)

【合計】

1,088億856万6千円
(対前年度比3.6%増)

予算編成について

定額減税による減収分は国による補てんがあるものの、社会保障関連経費や公債費等の義務的経費のほか、原材料や資材価格の高騰、人件費の上昇による委託料、工事請負費などの増加は続いており、令和6年度も、財政調整基金および市債管理基金から繰越金を計上しています。一方で、ふるさと納税寄付金の積立てにより、ふるさと納税基金の残高は順調に増加しており、寄付者や市民が共感できる事業の財源として、積極的な活用を検討しているところです。引き続き、既存事業の見直しやデジタル化による業務の効率化などに取組み、歳出の削減を図るとともに、企業誘致や産業振興による税収の確保、ふるさと納税のさらなる拡充による自主財源の確保に努めていきます。令和6年度も、限られた財源の適正配分に努めながら、市民生活に係る喫緊の課題への対応を図り、引き続き、財政の安定と健全性を確保しながら、持続可能な財政運営にするための予算編成になっています。

Pick Up ピックアップ ⑤

2024年度注目事業

防災情報配信事業 継続 (3億8,271万6千円)

災害時等における市民への情報伝達手段をより確実なものとするため、引き続き防災行政無線の屋外拡声子局のデジタル化更新工事を進めるとともに、ひたちなか安全・安心メールやSNSなどの活用により、情報伝達手段の多様化に努めます。



地域包括支援センター運営事業 拡大 (1億5,125万円)

地域包括ケアの要となる地域包括支援センターについて、現在、市内に5か所設置していますが、相談支援体制の充実・強化を図るため、新たに1か所を増設します。



病児保育施設整備支援事業 継続 (3,976万7千円)

保育環境の充実につながる病児保育において、令和7年4月に新たな病児保育施設が勝田地区に開設される予定です。引き続き、事業者との連携を図りながら、施設整備を支援し、病児保育環境の充実に努めます。



ふるさと納税推進事業 継続 (2億86万2千円)

個人版ふるさと納税については、返礼品提供事業者および返礼品の拡充により寄付額は順調に伸びている状況です。引き続き地場産品や体験型など、本市ならではの返礼品の拡充とともに、魅力の発信や産業の活性化、自主財源の確保につなげます。企業版ふるさと納税についても、民間事業者と連携し、企業とのパートナーシップに努めます。

新中央図書館整備事業 新規 (7,465万7千円)

東石川第4公園敷地内に建設する新中央図書館については、設計業務に着手します。また、市民の皆様方からいただいたご意見等も踏まえ、幅広い世代が居心地よく利用できる魅力的な図書館の建設に取り組めます。



第4次総合計画策定事業 新規 (1,465万8千円)

令和8年度を初年度とする第4次総合計画策定に取り組めます。また、市民の皆様と一緒にまちづくりを考えていくキックオフイベントや、多様な市民が参加するワークショップ等を開催することで、幅広く市民の声を聴き、計画に反映させていくことに努めます。

Pick Up ピックアップ ⑥

2024年3月定例会にて代表質問登壇



たくさんの方々から傍聴ならびに、激励をいただきました。ありがとうございました。

質問した内容は下記の通りです。その中から、3つの質問と答弁について掲載いたします。

代表質問項目

1. 第3次総合計画後期基本計画および次期総合計画について
2. 令和6年度予算編成について
3. 令和6年度市政の取り組みについて
 - (1) 市民の安全安心な暮らしを守るまちづくり
 - ①防災対策について
 - ②水道事業について
 - ③集中豪雨対策について
 - ④原子力災害に備えた広域避難計画について
 - ⑤空き家対策について
 - ⑥消費生活について
 - (2) 生涯を通じていきいきと暮らせるまちづくり
 - ①地域福祉の推進について
 - ②高齢者福祉について
 - ③障がい者福祉について
 - (3) 子育て世代に選ばれるまちづくり
 - ①結婚新生活支援事業について
 - ②子育てサポートについて
 - ③病児保育について
 - ④公立学童クラブについて
 - ⑤ICT教育の推進について
 - ⑥学校給食費の公会計化について
 - ⑦コミュニティ・スクールについて
- (4) 地域経済の活性化とにぎわいのあるまちづくり
 - ①本市産『ほしいも』の魅力発信について
 - ②観光振興について
 - ③市誕生30周年記念事業について
 - ④企業誘致について
 - ⑤ふるさと納税について
- (5) 快適で機能的な住みよいまちづくり
 - ①佐和駅前広場および周辺整備について
 - ②高場陸橋および周辺整備について
 - ③新中央図書館について
 - ④ひたちなか海浜鉄道湊線の延伸について
 - ⑤環境対策について
- (6) 市民とともに知恵と力を合わせたまちづくり
 - ①自治会活動について
 - ②公共施設マネジメントについて
 - ③行政情報の発信について
 - ④ファン共創事業について

3. (1) 市民の安全安心な暮らしを守るまちづくり ④原子力災害に備えた広域避難計画について

質問 国は原発から30キロ圏内にある自治体に広域避難計画の策定を義務付け、発電所においては安全性向上対策工事を着実に進めることを求めている。本市は、平成30年に県内および千葉県内の自治体と、本市民の広域避難に関する協定を結び、翌年2月に避難計画の基本方針を取り纏めた。しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大を契機に、県からは1人当たりの避難所面積を3平方メートル以上にすることが示され、本市は現在、県と連携し避難先確保に向けた再調整を進めている。原子力立地自治体である東海村は、昨年末に広域避難計画の公表を行った。公表した自治体は現在14市町村のうち6自治体となり、また、PAZ、UPZが混在する日立市も今年度中に公表する予定。本市でも一つ一つ課題を整理し、ファクトベースで広域避難計画の策定に向け、さらに前進させる必要がある。そこで、発電所が進めている安全性向上対策工事の進捗とは別に、広域避難計画の策定は必須。改めて市長の考えを伺う。また、広域避難計画の策定作業は進捗中だが、現時点で課題となっていることはなにか、今後の見通しも含め伺う。



答弁 国は、東日本大震災・福島第一原発事故を踏まえ、平成24年に防災基本計画を修正するとともに、原子力災害対策指針を定めた。これにより、原発から30キロメートル圏内に所在する自治体には、広域避難計画の策定が義務付けられている。現在、日本原電においては、国の新規規制基準の適合に向けた安全性向上対策工事の取組みが進められているが、東海第2原発は使用済み核燃料等を有しており、原発再稼働の有無にかかわらず、避難計画の策定が必要となる。東海第2原発の所在地域に位置する本市において、市民の皆様の安全安心のため、原子力防災の一環である広域避難計画を策定することは、行政としての責務であると認識している。引き続き、国や県、関係市町村などと連携を図りながら、避難計画の策定に取り組んでいく。

PAZ : (Precautionary Action Zone)

原子力施設から概ね半径5km圏内で放射性物質放出の有無にかかわらず屋内退避、避難などの予防的防護措置が迅速に行なえるように準備する区域。

UPZ : (Urgent Protection action planning Zone)

原子力施設から概ね半径30km圏内で全面緊急事態となった場合、放射性物質放出の前段階において住民の緊急防護措置(避難、屋内退避、安定ヨウ素剤の予防服用等)が迅速に行なえるように準備する区域。

3. (3) 子育て世代に選ばれるまちづくり ③病児保育について

質問 近年、共働き世帯の増加に伴い、子どもが病気になったときに親の代わりに保育をする病児保育の需要が高まっている。体調を崩している子どもを預けられる場所が身近にあることは、保護者の方々にとって安心して働けることにもつながると考える。本市は那珂湊地区の病院併設型病児保育施設『まりんルーム』に加え、令和2年4月に那珂市と相互利用協定を締結した『しろやぎさんのポシェット』の広域利用を推進している。さらに、令和7年4月に新たな病児保育施設が勝田地区に開設される予定。本市における病児保育の環境が一層充実することを期待する。そこで、勝田地区での病院併設型施設の状況と課題、今後の進め方について伺う。



まりんルーム



しろやぎさんのポシェット

答弁 県内で介護事業等を運営する社会福祉法人から、勝田地区での病児保育事業実施の意向が示され、令和7年4月からの事業開始に向け、本市と事業実施法人が連携を図りながら、病院併設型施設の整備を進めている。課題としては、実施要件を満たすために配置する人員の確保であると認識している。事業実施に必要な看護師や保育士については、慢性的な人材不足となっているが、就職等を支援している茨城県ナースセンターやハローワークと連携した就職説明会の活用を推進し、必要な人員の確保に向けた取組みを支援していきたいと考えている。今後は、令和7年度当初より円滑に事業が開始できるよう、施設整備に必要な支援を本年度に引き続き行なっていく。また、令和7年度以降においても安定的な事業実施が図られるよう事業実施法人と連携していく。

3. (5) 快適で機能的な住みよいまちづくり ②高場陸橋および周辺整備について

質問 陸橋区間および交差点周辺の渋滞緩和や常磐自動車道や常陸那珂港へのアクセス性の向上、そして、陸橋を渡る歩行者や陸橋周辺の生活道路の安全な通行などを図るため、東中根高場線の一部である高場陸橋の4車線化の整備が進められている。また、周辺整備では現在、高場陸橋の東側・西側、それぞれの交差点改良工事に着手し、今後は支障となる信号機や電柱などの移設および、高場十文字交差点から下高場交差点までの延長520メートルの区間の暫定3車線化整備も進められている。市街地間の円滑な交通流の確保や本市の多様な都市活動および、安全のさらなる確保につながることを期待する。そこで、高場陸橋および周辺整備について、現在の進捗状況と課題、今後のスケジュールについて伺う。

答弁 進捗状況だが、これまでに橋梁部への橋桁設置工事や橋梁部までのスロープ区間盛土工事など、主要な工事がそれぞれ完了し、概ね順調に整備が進んでいる。現在は、新橋の概成に向けた全面舗装工事や道路照明灯設置工事のほか、東西それぞれの交差点改良工事などを実施している。工事にあたっては、地下通信ケーブルや電柱、信号機など、関係機関が行なう移設工事と現場が競合するとともに、交通量が多い交差点での施行となり、交通安全への配慮が求められるなどの課題がある。このため、複数の請負業者や関係機関と連携を図り、安全対策に努めながら整備を進めている。今後のスケジュールとしては、本年6月末に新橋が概成した後、新橋と現橋それぞれの車線を順次切り替えながら、中央分離帯や区画線の整備のほか、現橋へ歩道を新設する工事を進める。合わせて、合流区間となる高場十字路交差点から下高場交差点までの延長520メートルにおいて、アスファルト舗装打換えや区画線の引き直し等を行なう暫定3車線化に向けた整備を進め、本年12月末に予定する完全4車線での供用開始に向けて鋭意整備を進める。



2024年3月定例会報告

審議案件

3月4日(月)～28日(木)の25日間に渡り、第1回3月定例会が開催されました。定例会では65件の報告・諮問及び議案に対する審議を行ない、いずれも提案の通り承認・同意及び可決しました。

報告事項 (10件)

- ・専決処分の報告について
和解・損害賠償の決定 (4件)
2023年度ひたちなか市一般会計補正予算
<第7号> (1件)
- ・ひたちなか市市税条例の一部改正について (1件)
- ・令和6年度ひたちなか市下水道事業会計補正
予算<第1号>について (1件)
- ・ひたちなか市国民健康保険税条例の一部改正
について (1件)
- ・東日本大震災に係る災害被害者に対する市税
等の減免に関する条例の一部改正について (1件)
- ・東日本大震災に係る災害被害者に対する介護
保険料の減免に関する条例の一部改正について (1件)

議案事項 (55件)

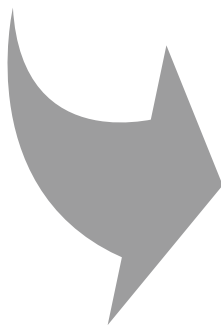
- ・令和6年度ひたちなか市一般会計予算 (1件)
- ・令和6年度ひたちなか市各特別会計予算 (13件)
- ・令和6年度ひたちなか市水道事業会計予算 (1件)
- ・令和6年度ひたちなか市下水道事業会計予算 (1件)

- ・令和5年度ひたちなか市一般会計補正予算
<第8号>について (1件)
- ・令和5年度ひたちなか市各特別会計補正予算 (13件)
- ・令和5年度ひたちなか市水道事業会計補正
予算<第2号> (1件)
- ・令和5年度ひたちなか市下水道事業会計補正
予算<第1号> (1件)
- ・ひたちなか市各条例制定について
<一部を改正する条例制定> (12件)
- ・督促手数料の廃止に伴う関係条例の整備に関
する条例制定について (1件)
- ・財産を支払手段として使用することについて (1件)
- ・市道路線の認定及び変更について (1件)
- ・公の施設の広域利用のに関する協議について (1件)
- ・常磐線佐和駅東西自由通路・新駅舎整備工事
委託事業に関する協定の一部を変更する締結
について (1件)
- ・ひたちなか市副市長の選任について (1件)
- ・ひたちなか市教育委員会教育長の選任について (1件)
- ・ひたちなか市教育委員会委員の選任について (1件)
- ・人権擁護委員の候補者推薦について (3件)

※定例会内容については右記の2次元コードなどからご確認ください。

第1回3月定例会 | ひたちなか市公式ウェブサイト (hitachinaka.lg.jp)

https://www.city.hitachinaka.lg.jp/gikai/g_katsudo/1001806/1013479/1013503/index.html



定例会の詳細を是非ご覧ください。



SNSへのアクセスはこちらから!!



友だち登録
よろしくお願ひします



X(旧 Twitter)



ホームページ



各SNSにて活動報告や
さまざまな情報を発信
していきます。

編集 後記

ひたちなか市は、本年11月1日に旧勝田市、那珂湊市の合併により誕生してから30周年という、大きな節目を迎えます。今年度は1年間を通して、文化、芸術、スポーツ、産業、教育等、様々な分野において記念事業が実施されます。(現在までに計画されている事業：39事業) 中には、市が主催する事業だけではなく、プロ野球セントラルリーグの公式戦や5年ぶりに本市で開催される『ロック・イン・ジャパン・フェスティバル』など、市内で実施される事業も記念事業の一つに取り入れられています。今後も多くの方々と一緒にまちを盛り上げ、さらにまちへの誇りや愛着が高まることを期待します。

皆様からのご意見・ご要望をお寄せください

この『活動報告』には、皆様方からのご意見・ご要望など、お寄せ頂く欄を設けております。本用紙をご活用頂き、郵送またはFAX・メール等でご連絡ください。また、送付宛先欄の2次元コードからもご意見・ご要望をお寄せいただくことができます。

社内便▷(佐)組合後援会事務局経由 北原行き ※必ず封筒に入れてください。

郵便▷〒312-0063 ひたちなか市田彦998-5

FAX▷029-275-1680 (日立Astemo労組 佐和支部内)

メール▷yuji.kitahara.ye@hitachiaSTEMO.com

ご意見・ご要望などをお寄せください。



《キリトリ》

(佐) 組合後援会事務局経由 北原 行き

ご意見・ご要望

お名前:

ご住所:

TEL:

※ ご提供いただいた個人情報は「北原ゆうじ」市政相談窓口の用途以外には使用致しません。